

川内川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

R3.3.30
(国交省公表資料)

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、川内川水系においても、河床勾配が急勾配・緩勾配が交互に現れ、狭窄部が多くひょうたん型の氾濫原が連続し、盆地や平坦部に人口・資産が集中していることで浸水被害発生時影響が長期化するという流域の特性があることから、引堤事業や河道掘削などの事前防災対策を進めことで、国管理区間においては、戦後最大規模の平成18年7月洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



川内川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

R3.3.30
(国交省公表資料)

～川内川水害に強い地域づくりを推進するためのハード・ソフト対策の確実な実施～

- 川内川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】鶴田ダム下流は、薩摩川内市街部での重大災害の発生を未然に防ぐため、区画整理事業と一体となった引堤事業等を主に実施。鶴田ダム上流は、伊佐市内・湧水町栗野地区の流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施。また、河床低下対策を継続実施するとともに、洪水の阻害となっている下方井堰の改築等を主に実施。県管理区間においても河道掘削・橋梁架替等を実施するとともに、令和2年7月豪雨で被災した箇所の災害復旧事業を実施。防災学習、土地リスク情報の充実、防災情報の連携、自主防災組織の強化等のソフト対策や、住まい方の工夫など、流域内の被害軽減を目指す。
- 【中期】鶴田ダム下流は、東郷市街部での流下能力不足解消のため、氾濫を防ぐための堤防整備等を主に実施。鶴田ダム上流は、湧水町吉松地区の流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削・橋梁改築等を主に実施。
- 【中長期】薩摩川内市～鶴田ダム区間での流下能力解消のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施。

区分	対策内容	事業主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策等(引堤整備、高潮堤防整備、堰改築、橋梁架替、堤防強化、河床低下対策(キャッピング工)、河川防災ステーション等)	国土交通省	天屋第二地区引堤整備	東郷弁洲地区河道整備、橋梁整備、河道掘削	鶴田ダム上流部河道掘削、堰改築、橋梁架替等
	土砂災害対策	鹿児島県、宮崎県	高潮対策	河道掘削、樹木伐採、橋梁架替等	
	森林の整備・保全、治山施設等の整備	林野庁、森林研究・整備機構、鹿児島県、宮崎県等	災害復旧、河道掘削等	大河平谷河他2渓流等	
	流域の雨水貯留機能の向上	薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市、鹿児島県、宮崎県、国土交通省	水源林の整備・保全、間伐等の森林整備、治山施設の整備等	ため池の治水利用、補修	開発行為に伴う流出増対策の強化
	流水の貯留機能の拡大	国土交通省、鹿児島県、薩摩川内市、電源開発(株)、土地改良区	雨水貯留施設の検討・整備	道路等の透水性舗装整備	支川の流出抑制対策等
被害対象を減少させるための対策	リスクの低いエリアへ誘導・住まい方の工夫	国土交通省、鹿児島県、宮崎県、薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市	土地利用規制・誘導、輪中堤の機能維持	工事用残土等を活用した避難路・高台整備、排水作業準備計画の作成・普及等	
	氾濫域での対策	国土交通省、鹿児島県、宮崎県、薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市	川内川河川学習プログラムの活用推進	川内川河川防災河川学習プログラム利用推進、出前講座・防災学習の実施	
	被災の軽減、早期復旧・復興のための対策	国土交通省、鹿児島県、薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市	未作成区間の浸水想定区域図作成及びハザードマップ作成等	避難路・輸送経路計画、防災情報連携の強化、自主防災組織の強化等	

※上表の予定は、今後の事業進捗によって変更になる場合がある。

肝属川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

R3. 3. 30
(国交省公表資料)

～しらす堤防強化と大隅半島3市町（鹿屋市、肝付町、東串良町）が一体となった治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、肝属川水系においても、築堤材料が火砕流堆積物のシラス堤であり、水の浸透に対して脆弱で侵食されやすい特性があり、また肝属川中下流部において背後地の地盤高が洪水時の河川水に比べて低く、内水氾濫が生じやすい地形特性となっているため、堤防強化、河道掘削、内水対策などの事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の平成17年9月洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



10

肝属川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

R3. 3. 30
(国交省公表資料)

～しらす堤防強化と大隅半島3市町（鹿屋市、肝付町、東串良町）が一体となった治水対策の推進～

○肝属川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】質的安全性の低い箇所を対象に堤防強化を実施する。また内水被害軽減に寄与する箇所の河道掘削を優先的に実施する。また利水ダムにおける事前放流については、より有効なものとなるように関係機関の連携を強化する。また、市町においては雨水排水施設の整備推進と雨水流出抑制施設設置等により、内水被害軽減を図る。

【中期】河道掘削及び鹿屋分水路の機能向上を実施し、鹿屋市街地等の安全度向上を図る。

【中長期】「被害対象を減少させるための対策」を推進し、二線堤や輪中堤の整備を実施する。併せてソフト対策についても、最新技術等を常に反映させ、流域全体の治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	短期	工程 中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防強化	大隅河川国道事務所	下住下地区 田崎地区 等		
	河道掘削、 鹿屋分水路の機能向上	大隅河川国道事務所 鹿児島県	鹿屋市街地等 鹿屋分水路の機能向上 (鹿児島県)河道掘削等		
	内水対策の強化	鹿屋市等	排水ポンプ車の機動的活用 流域外放水 等		
	利水ダムによる 事前放流	土地改良区	高隈ダム・荒瀬ダム		
	砂防関係施設の整備	鹿児島県等	地域の基礎的なインフラの集中保全 土砂・洪水氾濫対策		
	雨水排水施設の 整備推進	鹿屋市等	雨水排水施設の整備推進 雨水流出抑制施設の設置		
	森林の整備・保全 治山施設の整備	鹿児島県、大隅森林管理署 森林研究・整備機構等	治山施設整備による土砂流出抑制対策 森林の整備による流出抑制対策		
	河川の適正な 維持管理	大隅河川国道事務所 鹿児島県	河川の維持掘削・樹木伐採		
被害対象を減少させるための対策	土地利用・ 住まい方の工夫	鹿屋市、肝付町等	土地利用規制・誘導 立地適正化計画(防災指針)による誘導施策等の実施		
	浸水範囲の限定・ 氾濫水の制御	肝付町等	輪中堤・二線堤の整備		
被害の軽減、 早期復旧・ 復興のための 支援	土地の水災害リスク情報 の充実	大隅河川国道事務所、鹿児島県 鹿屋市、東串良町、肝付町	防災情報の確実な伝達 防災学習教材資料の更新 等		
	避難体制等の強化	大隅河川国道事務所、鹿児島県 鹿屋市、東串良町、肝付町	タイムラインの検証・見直し 要配慮者避難確保計画の作成 等		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

■河川対策 (約45億円)

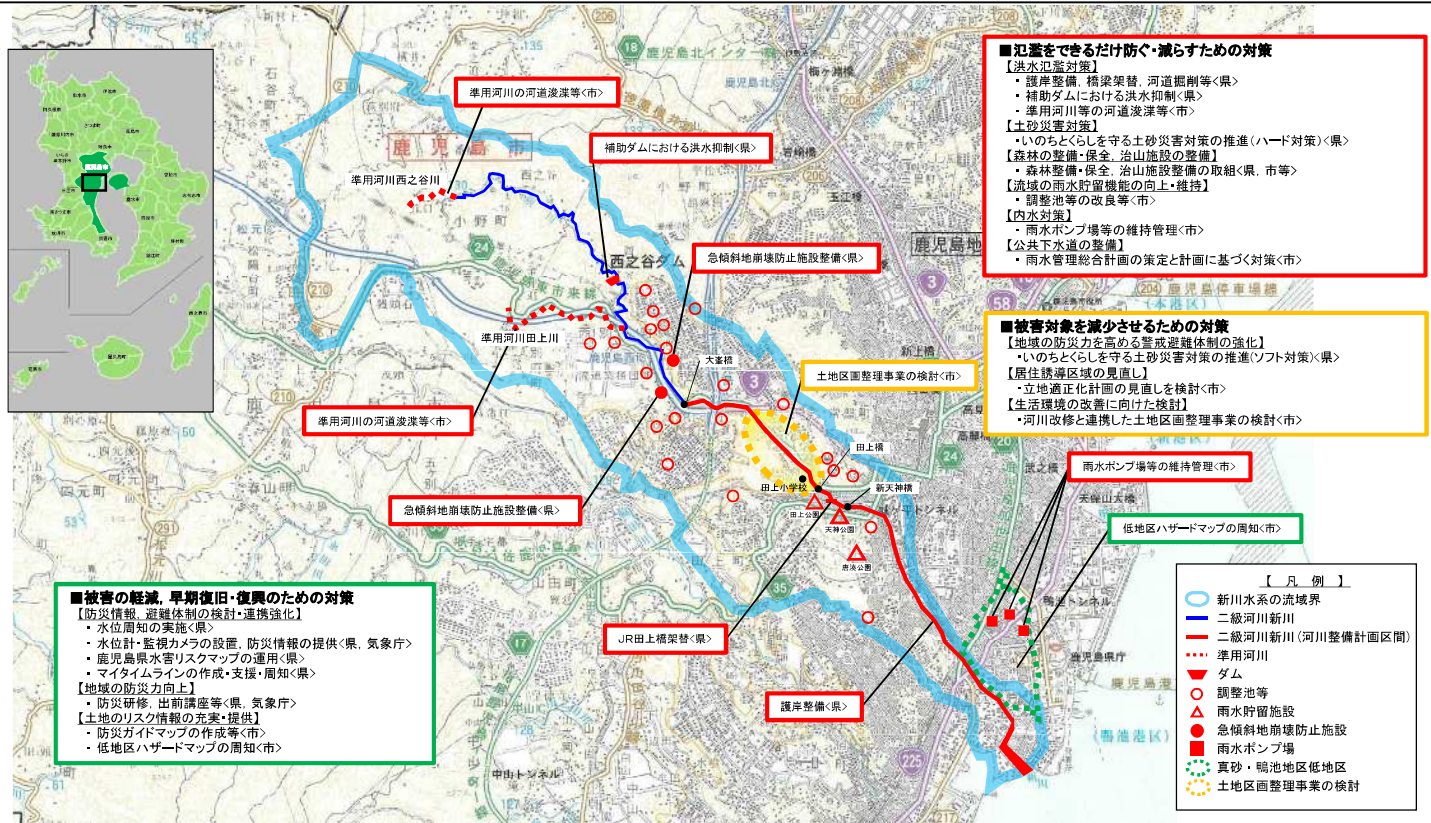
11

新川水系流域治水プロジェクト

R3.10.29 公表

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、新川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、県管理区間においては、年超過確率1/20の規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

12

新川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

R3.10.29 公表

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

- 新川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした護岸整備、JR田上橋架替、河道掘削等を主に実施
土砂災害による流下能力不足防止を目的とした急傾斜地崩壊防止施設整備、森林の整備・保全、治山施設の整備を実施
水位上昇を抑制するため、流域の雨水貯留機能の向上・維持を目的とした調整池等の改良等を実施
土地のリスク情報の充実・提供を行い流域内の被害軽減を目指す。
 - 【中期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした護岸整備や河道掘削等を実施
水位上昇を抑制するため、流域の雨水貯留機能の向上・維持を目的とした調整池等の改良等を実施
 - 【中長期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした護岸整備等を実施
河川改修と連携した土地区画整理事業の検討を実施
浸水被害を軽減するため、内水排除を目的とした雨水ポンプ場等の維持管理を実施
雨水管理総合計画の策定と計画に基づく対策を実施

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策(橋梁架替、護岸整備、河道掘削等)	鹿児島県、鹿児島市	護岸整備、JR田上橋架替、河道掘削等		
	土砂災害対策(ハード対策)	鹿児島県	大峯3地区・田上10地区等		
	森林の整備・保全・治山施設の整備	鹿児島県、鹿児島市等	森林整備、治山施設整備による土砂流出抑制対策		
	流域の雨水貯留機能の向上・維持	鹿児島市	調整池等の改良等		
	内水対策	鹿児島市	雨水ポンプ場等の維持管理		
	公共下水道の整備	鹿児島市	雨水管理総合計画の策定と計画に基づく対策		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害対策(ソフト対策)	鹿児島県	土砂災害警戒区域等の指定等		
	居住誘導区域の見直し	鹿児島市	立地適正化計画の見直しを検討		
	生活環境の改善に向けた検討	鹿児島市	河川改修と連携した土地区画整理事業の検討		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県、気象庁	水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供、マイタイムラインの作成・支援・周知等		
	地域の防災力向上	鹿児島県、気象庁	防災研修、出前講座等		
	土地のリスク情報の充実・提供	鹿児島市	防災ガイドマップの作成等		
			低地区ハザードマップの周知		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

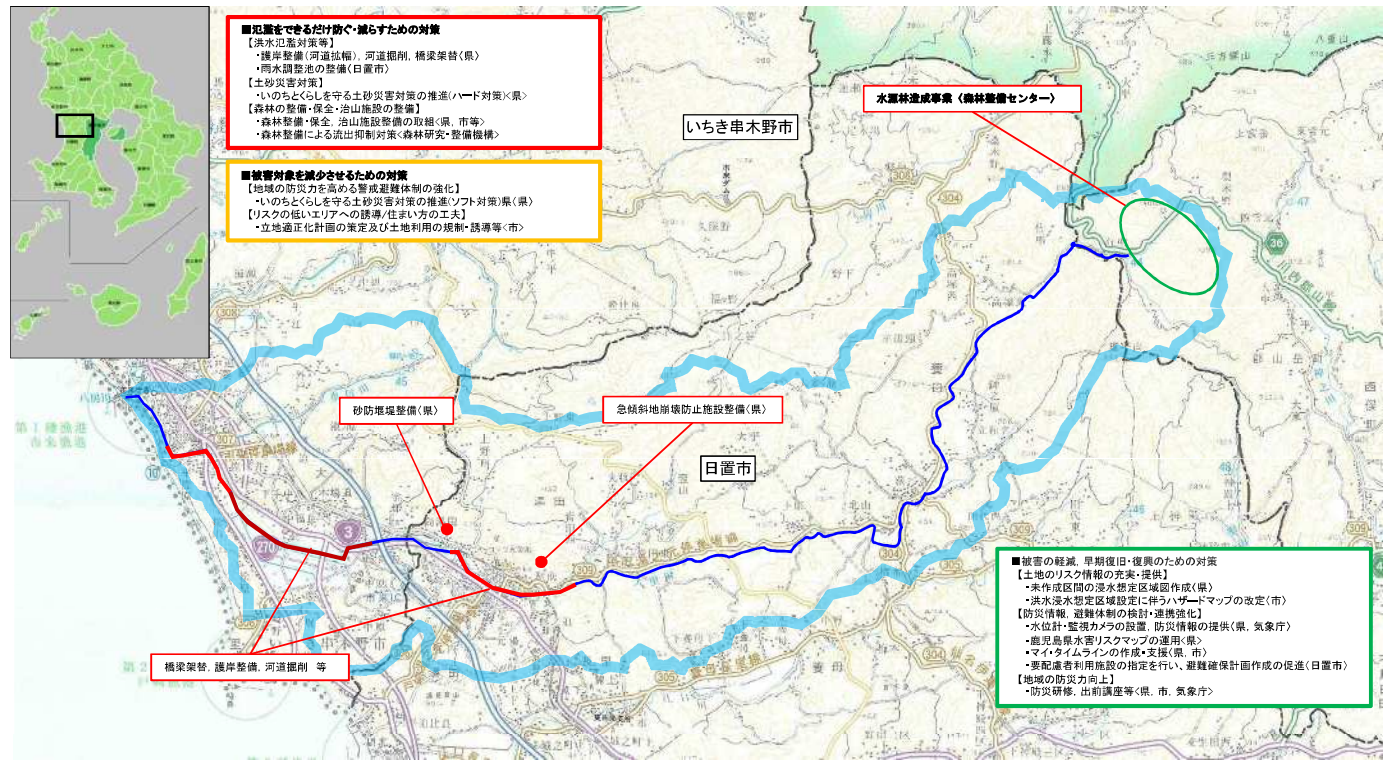
13

大里川水系流域治水プロジェクト

R3. 10. 29 公表

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

〇令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、大里川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、県管理区間においては、年超過確率1/10の規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

14

大里川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

R3. 10. 29 公表

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

- 〇大里川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした護岸整備、河道掘削、橋梁架替等を主に実施。
 土砂災害による流下能力不足防止を目的とした砂防堰堤、急傾斜地崩壊防止設備整備、森林の整備・保全、治山施設の整備を実施
 土地のリスク情報の充実・提供を行い流域内の被害軽減を目指す。
- 【中期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした護岸整備や橋梁架替を実施
 要配慮者利用施設の指定を行い、避難確保計画作成の促進
- 【中長期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした護岸整備や橋梁架替を実施

区分	対策内容	事業主体	工 程		
			短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策（護岸整備、河道掘削、橋梁架替等）	鹿児島県	護岸整備、河道掘削、橋梁架替 等		
	土砂災害対策（ハード対策）	鹿児島県	向湯田谷川、久木元地区 等		
	森林の整備・保全・治山施設の整備	鹿児島県、いちき串木野市、日置市、森林・研究整備機構 等	森林整備、治山施設整備による土砂流出抑制対策		
	雨水調整池の整備	日置市			雨水調整池の整備
被害対象を減少させるための対策	土砂災害対策（ソフト対策）	鹿児島県	土砂災害警戒区域等の指定 等		
	リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫	いちき串木野市、日置市	立地適正化計画の策定及び土地利用の規制・誘導 等		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県	洪水浸水想定区域図の作成・公表		
	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県、いちき串木野市、日置市、気象庁	防災情報の提供、マイタイムラインの作成・支援、水位計・監視カメラの設置 等		
	地域の防災力向上	鹿児島県、いちき串木野市、日置市、気象庁	防災研修、出前講座 等		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

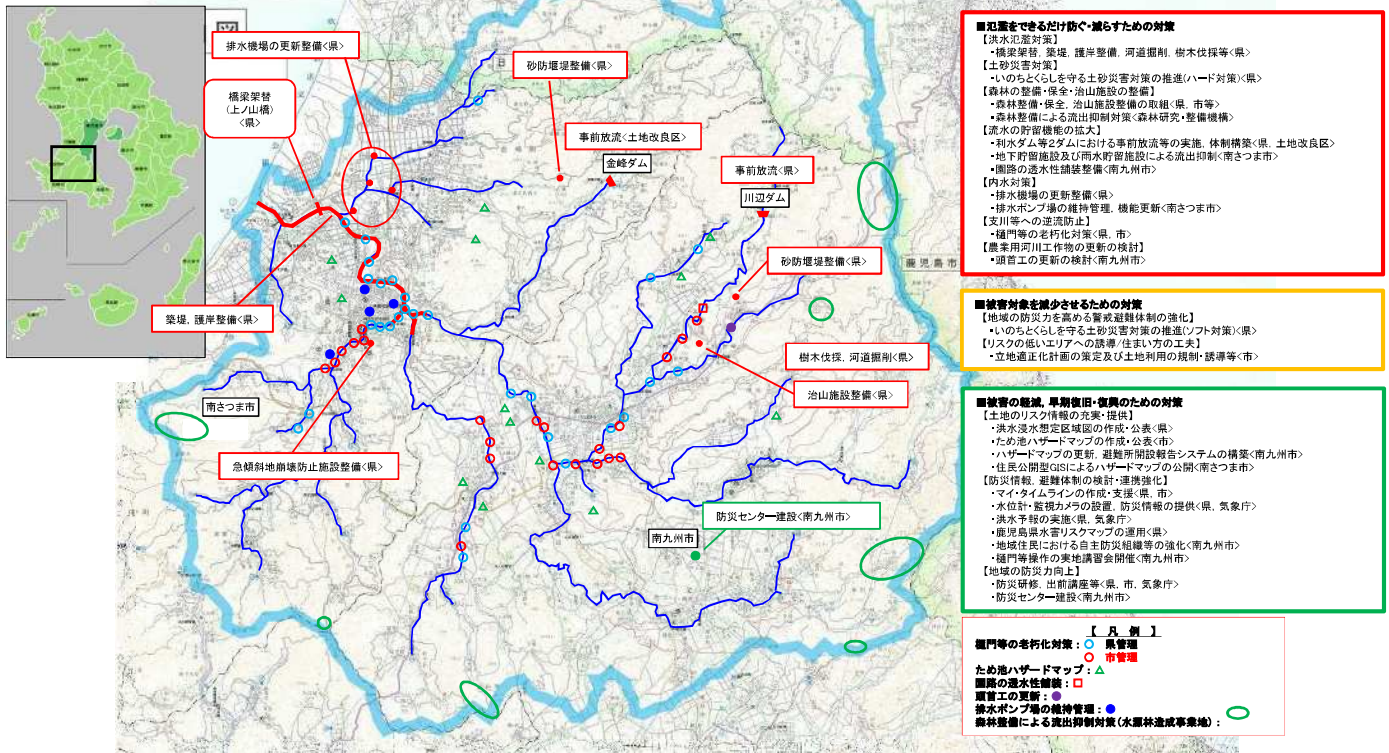
15

万之瀬川水系流域治水プロジェクト【鹿児島県】

R3. 10. 29 公表

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

〇令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、万之瀬川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、県管理区間においては、年超過確率1／20の規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

16

万之瀬川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

R3. 10. 29 公表

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

〇万之瀬川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした上ノ山橋架替、築堤、護岸整備、河道掘削等を主に実施。
土砂災害による流下能力不足防止を目的とした砂防堰堤・急傾斜地崩壊防止設備整備、森林の整備・保全、治山施設の整備を実施。
水位上昇を抑制するため、流水の貯留機能の拡大を目的とした補助ダム・利水ダムにおける事前放流等を主に実施。
浸水被害を解消するため、内水排除を目的とした排水機場の更新整備、排水ポンプ場の維持管理・機能更新、支川等への逆流防止を目的とした樋門等の老朽化対策を実施。
土地のリスク情報の充実・提供、防災情報、避難体制の検討・連携強化、地域の防災力向上、土地利用・住まい方の工夫など、流域内の被害軽減を目指す。

【中期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした上ノ山橋架替を主に実施。
水位上昇を抑制するため、流水の貯留機能の拡大を目的とした園路の透水性舗装整備を実施。
流下能力不足解消のため、洪水流を阻害している頭首工の更新を検討。

【中長期】 流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削を主に実施。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策(橋梁架替、築堤、護岸整備、河道掘削、樹木伐採等)	鹿児島県	上ノ山橋架替、築堤、護岸整備、河道掘削、樹木伐採 等		
	土砂災害対策(ハード対策)	鹿児島県	堀切谷川(2)、田代第2谷、平之島場地区 等		
	森林の整備・保全・治山施設の整備	鹿児島県、南さつま市、南九州市、森林研究整備機構 等	森林整備、治山施設整備による土砂流出抑制対策		
	流水の貯留機能の拡大	鹿児島県、土地改良区、南さつま市、南九州市	補助ダム・利水ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 地下貯留施設及び雨水貯留施設による流出抑制 園路の透水性舗装整備		
	内水対策	鹿児島県、南さつま市	排水機場の更新整備 等		
	支流等への逆流防止	鹿児島県、南さつま市、南九州市	樋門等の老朽化対策		
	農業用河川工作物の更新の検討	南九州市	頭首工の更新の検討		
	被害対象を減少させるための対策	鹿児島県	土砂災害警戒区域等の指定 等		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	リスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫	南さつま市、南九州市	立地適正化計画の策定及び土地利用の規制・誘導 等		
	土地のリスク情報の充実・提供	鹿児島県、南さつま市、南九州市	洪水浸水想定区域図の作成・公表、ため池ハザードマップの作成・公表 等		
	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県、南さつま市、南九州市、気象庁	マイタイムラインの作成・支援、水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等		
	地域の防災力向上	鹿児島県、南さつま市、南九州市、気象庁	防災研修、出前講座、防災センター建設 等		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

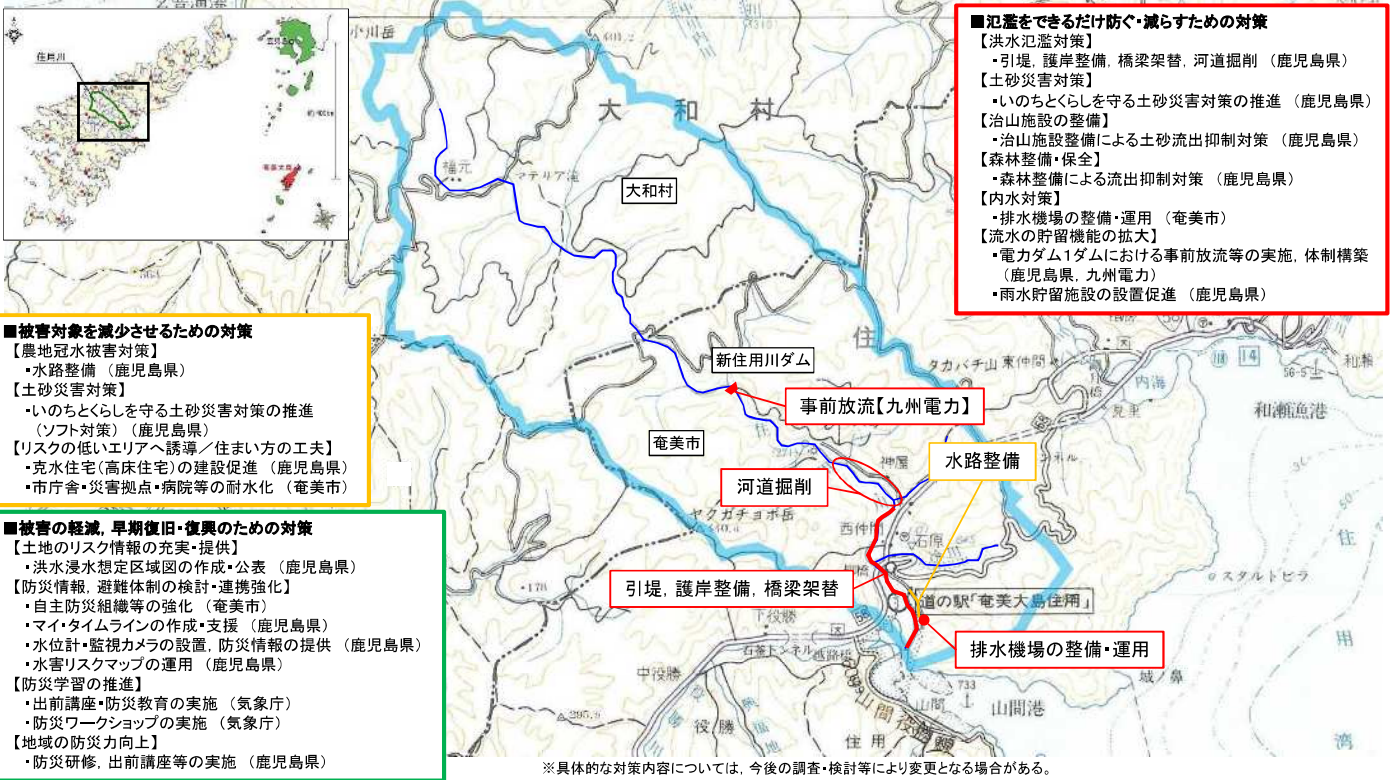
17

住用川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

R3. 10. 29 公表

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、住用川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、県管理区間においては、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



18

住用川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

R3. 10. 29 公表

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

- 住用川では、流域全体を俯瞰し、県・奄美市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】住用川の中流～下流域において、西仲間・石原集落での重大災害の発生を未然に防ぐため、引堤・護岸整備、橋梁架替等の河川改修事業を実施。住用川上流域において、流下能力の向上を図るため、河道に堆積した土砂の掘削を実施。集落や国道58号における内水対策として、石原地区排水機場の整備・運用を実施。電力ダムにおける事前放流の体制を構築し、水害対策に使える利水容量を確保。
 - 【中期】住用川の中流～下流域において、引堤・護岸整備等の河川改修事業を主に実施。
 - 【中長期】住用川の中流～下流域において、引堤・護岸整備等の河川改修事業を主に実施。防災学習、土地のリスク情報の充実、防災情報の連携、自主防砂組織の強化等のソフト対策や、住まい方の工夫など、流域内の被害軽減を目指す。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策（引堤、護岸整備、橋梁架替、河道掘削）	鹿児島県	河道掘削	引堤、護岸整備、橋梁架替	河道掘削
	土砂災害対策	鹿児島県		砂防施設の整備 等	
	治山施設の整備 森林の整備・保全	鹿児島県 関係機関		治山施設の整備、間伐等の森林整備 等	
	内水対策	奄美市		石原地区排水機場の整備・運用	
	流水の貯留機能の拡大	鹿児島県 九州電力		電力ダム1ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 雨水貯留施設の設置促進	
被害対象を減少させるための対策	農地冠水対策	鹿児島県		水路の断面拡幅による農地の冠水対策	
	土砂災害対策	鹿児島県		地域の防砂力を高める警戒避難態勢の強化	
	リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫	鹿児島県 奄美市		克水住宅（高床住宅）の建設促進 市庁舎・災害拠点・病院等の耐水化	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	鹿児島県		洪水浸水想定区域図の作成・公表	
	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県 奄美市		自主防災組織等の強化 水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供、水害リスクマップの運用 等	
	防災学習の推進	気象庁 関係機関		出前講座・防災教育の実施、防災ワークショップの実施	
	地域の防災力向上	鹿児島県		防災研修、出前講座等の実施	

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

19